



# 医療のお仕事

美幌町

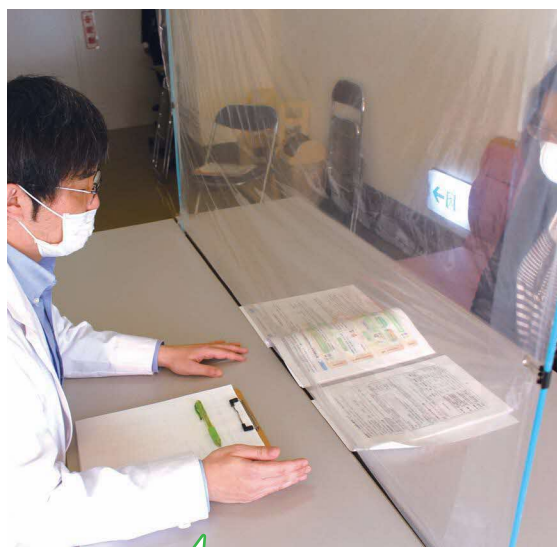
## 「言葉」を使い相談技術で人を助けることができる使命感がやりがいに

### 仕事について

### 自分の言葉が悩んでいる人の後押しに

高校卒業後は、釧路(くしろ)の専門学校で介護の勉強をしました。将来を考えたときに、**手に職をつけたいと思っていた**ところ、クラスメイトが介護の道に進んだのを見て、そういう道もあることを知りました。仕事を始めてみたら、社会保障の担い手として、使命感や正義感につながる大切な仕事だったため、**だんだんと興味を持ちました。**

また、医療福祉(いりょうふくい)の分野は介護だけではなく、いろいろな仕事があることも知りました。初めは介護士をやっていましたが、現在は、患者(かんじゃ)さんやそのご家族の相談にのる「医療ソーシャルワーカー」という仕事をしています。介護士は体を使って人を助ける仕事ですが、医療ソーシャルワーカーは言葉を使って助ける仕事。必ずしも納得する答えを導き出すことはできませんが、**自分の「言葉」で、人に喜んでもらえたり、前に進んでもらうことができます。**これまで続けてこられたのも、そういったところで自分に自信が持てたり、やりがいを感じているからです。



患者さんやご家族の話は親身に聞くように心がけます

### オホーツクへの想い

### オホーツクの自然はストレス発散に最適

若いころは都会にあこがれたこともありましたが、年を重ねていくうちに、自然や地元の良さを感じるように。働いていると大変なときもありますが、プライベートを充実(じゅうじつ)することでストレス発散しています。**オホーツクは自然豊かで、ストレスを発散するには恵まれた環境。**釣りやキャンプなど健康的な遊びが充実していて、すごく癒されます。

### 地域との関わり

### つながりを持つことで地域を守る手助けに

医療・介護・地域は、どこか一つががんばってもダメで、**みんなが同じ目線で社会保障を守っていかなくてはなりません。**それが、**地域を守ることへとつながります。**そういった意味では、行政や福祉、地域の方々と日ごろから連絡を取り合いながら、つながりを持つように心がけています。**町の医療福祉が充実していく手助けができれば**と思っています。



先生たちと会議中

### メッセージ

### 「やりがい」や「使命感」は大切

仕事を長く続けていくためにはお金だけではなく、やりがいや使命感も大切。お医者さんはメスを使ったり、薬を使ったりして治す。医療ソーシャルワーカーは「言葉」を使って、病気の人やそのご家族をサポートする、とてもやりがいのある仕事です。自分の言葉で現状を変えていけるというおもしろさもあります。働く上で「自分に自信が持てる」というのはとても大事なことです。「だれかの役に立ちたい」という思いから仕事選びをしてみるのもいいですね。



ながくら まさふみ  
**永倉 雅史**さん

〈プロフィール〉

- 出身/大空町 ● 勤続年数/5年 ● 所属・役職/地域医療連携室 メディカルソーシャルワーカー
- モットー/「患者福利」「社会正義」を守ること

〈勤務会社〉美幌町立国民健康保険病院 〒092-0004 美幌町仲町2丁目38番地 TEL:0152-73-4111